



雪に掩れたる巨林の梢頭に 燦々として輝く東天紅

★雪に掩れたる巨林の梢頭に 燦々として輝く東天紅

廣氷原の美観 牡丹の如き流水
森に消極なるは妻を伴へる浮世

◆雪の詩◆

雪の詩は、冬を代表するもの。雪が降り、世界が白く染まる。その静寂と美しさを詠んだ詩は、人々の心を癒す。雪の詩は、自然の恵みを感謝するもの。雪が降り、世界が白く染まる。その静寂と美しさを詠んだ詩は、人々の心を癒す。雪の詩は、自然の恵みを感謝するもの。

◆死病神を追ひ捕ひ 死病神を追ひ捕ひ

死病神を追ひ捕ひ。死病神は、人々の生命を脅かす存在。死病神を追ひ捕ひ、人々の生命を救う。死病神を追ひ捕ひ、死病神は、人々の生命を脅かす存在。死病神を追ひ捕ひ、人々の生命を救う。

◆黄金が欲しければ ザバカル

黄金が欲しければ。ザバカルは、黄金を欲する人々を誘惑する存在。ザバカルは、黄金を欲する人々を誘惑する存在。ザバカルは、黄金を欲する人々を誘惑する存在。

◆新義州より 新義州より

新義州より。新義州は、朝鮮半島の北西部に位置する。新義州は、朝鮮半島の北西部に位置する。新義州は、朝鮮半島の北西部に位置する。

◆鹿の皮の屋根と 氷塊の窓を記し

鹿の皮の屋根と。氷塊の窓を記し。鹿の皮の屋根と、氷塊の窓を記し。鹿の皮の屋根と、氷塊の窓を記し。鹿の皮の屋根と、氷塊の窓を記し。

◆過激派兵を捕へし 過激派兵を捕へし

過激派兵を捕へし。過激派兵は、社会を揺るがす存在。過激派兵を捕へし、社会を安定させる。過激派兵を捕へし、過激派兵は、社会を揺るがす存在。過激派兵を捕へし、社会を安定させる。

●安東縣近事

安東縣近事。安東縣は、朝鮮半島の北東部に位置する。安東縣は、朝鮮半島の北東部に位置する。安東縣は、朝鮮半島の北東部に位置する。

●樺の時代に入らぬ奥地

樺の時代に入らぬ奥地。樺の時代は、樺太の時代。樺の時代に入らぬ奥地、樺の時代に入らぬ奥地。樺の時代に入らぬ奥地、樺の時代に入らぬ奥地。

●二頭政治

二頭政治。二頭政治は、二つの頭を持つ政治。二頭政治は、二つの頭を持つ政治。二頭政治は、二つの頭を持つ政治。

●希望多し

希望多し。希望は、人々の未来を照らす光。希望多し、人々の未来は明るい。希望多し、人々の未来は明るい。希望多し、人々の未来は明るい。

●和局銀相場

和局銀相場。和局銀相場は、和局銀の相場。和局銀相場は、和局銀の相場。和局銀相場は、和局銀の相場。

●新大正(安東縣)

新大正(安東縣)。新大正は、大正の新しい時代。新大正(安東縣)、大正の新しい時代。新大正(安東縣)、大正の新しい時代。

●新羅の古都(慶州)案内

新羅の古都(慶州)案内。新羅の古都は、新羅の古都。新羅の古都(慶州)案内、新羅の古都。新羅の古都(慶州)案内、新羅の古都。

●石水庫

石水庫。石水庫は、石の水を貯める水庫。石水庫は、石の水を貯める水庫。石水庫は、石の水を貯める水庫。

●小荷物状況観察

小荷物状況観察。小荷物状況観察は、小荷物の状況を観察すること。小荷物状況観察は、小荷物の状況を観察すること。小荷物状況観察は、小荷物の状況を観察すること。

●鼻高

鼻高。鼻高は、鼻の高さ。鼻高は、鼻の高さ。鼻高は、鼻の高さ。

●感冒の神

感冒の神。感冒の神は、感冒の神。感冒の神は、感冒の神。感冒の神は、感冒の神。

●感冒の神

感冒の神。感冒の神は、感冒の神。感冒の神は、感冒の神。感冒の神は、感冒の神。

●鼻高

鼻高。鼻高は、鼻の高さ。鼻高は、鼻の高さ。鼻高は、鼻の高さ。

●石水庫

石水庫。石水庫は、石の水を貯める水庫。石水庫は、石の水を貯める水庫。石水庫は、石の水を貯める水庫。

●小荷物状況観察

小荷物状況観察。小荷物状況観察は、小荷物の状況を観察すること。小荷物状況観察は、小荷物の状況を観察すること。小荷物状況観察は、小荷物の状況を観察すること。

●和局銀相場

和局銀相場。和局銀相場は、和局銀の相場。和局銀相場は、和局銀の相場。和局銀相場は、和局銀の相場。

●新大正(安東縣)

新大正(安東縣)。新大正は、大正の新しい時代。新大正(安東縣)、大正の新しい時代。新大正(安東縣)、大正の新しい時代。

●新羅の古都(慶州)案内

新羅の古都(慶州)案内。新羅の古都は、新羅の古都。新羅の古都(慶州)案内、新羅の古都。新羅の古都(慶州)案内、新羅の古都。

●石水庫

石水庫。石水庫は、石の水を貯める水庫。石水庫は、石の水を貯める水庫。石水庫は、石の水を貯める水庫。

●小荷物状況観察

小荷物状況観察。小荷物状況観察は、小荷物の状況を観察すること。小荷物状況観察は、小荷物の状況を観察すること。小荷物状況観察は、小荷物の状況を観察すること。

●感冒の神

感冒の神。感冒の神は、感冒の神。感冒の神は、感冒の神。感冒の神は、感冒の神。

●感冒の神

感冒の神。感冒の神は、感冒の神。感冒の神は、感冒の神。感冒の神は、感冒の神。

●鼻高

鼻高。鼻高は、鼻の高さ。鼻高は、鼻の高さ。鼻高は、鼻の高さ。

●石水庫

石水庫。石水庫は、石の水を貯める水庫。石水庫は、石の水を貯める水庫。石水庫は、石の水を貯める水庫。

●小荷物状況観察

小荷物状況観察。小荷物状況観察は、小荷物の状況を観察すること。小荷物状況観察は、小荷物の状況を観察すること。小荷物状況観察は、小荷物の状況を観察すること。

●和局銀相場

和局銀相場。和局銀相場は、和局銀の相場。和局銀相場は、和局銀の相場。和局銀相場は、和局銀の相場。

●新大正(安東縣)

新大正(安東縣)。新大正は、大正の新しい時代。新大正(安東縣)、大正の新しい時代。新大正(安東縣)、大正の新しい時代。

●新羅の古都(慶州)案内

新羅の古都(慶州)案内。新羅の古都は、新羅の古都。新羅の古都(慶州)案内、新羅の古都。新羅の古都(慶州)案内、新羅の古都。

●石水庫

石水庫。石水庫は、石の水を貯める水庫。石水庫は、石の水を貯める水庫。石水庫は、石の水を貯める水庫。

●小荷物状況観察

小荷物状況観察。小荷物状況観察は、小荷物の状況を観察すること。小荷物状況観察は、小荷物の状況を観察すること。小荷物状況観察は、小荷物の状況を観察すること。

●感冒の神

感冒の神。感冒の神は、感冒の神。感冒の神は、感冒の神。感冒の神は、感冒の神。

感冒の神。感冒の神は、感冒の神。感冒の神は、感冒の神。感冒の神は、感冒の神。

鼻高。鼻高は、鼻の高さ。鼻高は、鼻の高さ。鼻高は、鼻の高さ。

石水庫。石水庫は、石の水を貯める水庫。石水庫は、石の水を貯める水庫。石水庫は、石の水を貯める水庫。

小荷物状況観察。小荷物状況観察は、小荷物の状況を観察すること。小荷物状況観察は、小荷物の状況を観察すること。小荷物状況観察は、小荷物の状況を観察すること。

和局銀相場。和局銀相場は、和局銀の相場。和局銀相場は、和局銀の相場。和局銀相場は、和局銀の相場。

新大正(安東縣)。新大正は、大正の新しい時代。新大正(安東縣)、大正の新しい時代。新大正(安東縣)、大正の新しい時代。

新羅の古都(慶州)案内。新羅の古都は、新羅の古都。新羅の古都(慶州)案内、新羅の古都。新羅の古都(慶州)案内、新羅の古都。

石水庫。石水庫は、石の水を貯める水庫。石水庫は、石の水を貯める水庫。石水庫は、石の水を貯める水庫。

小荷物状況観察。小荷物状況観察は、小荷物の状況を観察すること。小荷物状況観察は、小荷物の状況を観察すること。小荷物状況観察は、小荷物の状況を観察すること。

感冒の神。感冒の神は、感冒の神。感冒の神は、感冒の神。感冒の神は、感冒の神。

休戦條件正修

フオツシユ元帥に依りて

休戦條件正修のフオツシユ元帥に依りて修正され幾分變更せり原文の要求に百六十集の潜航艇引渡しと有るを一切の現存潜航艇と訂正され十四日以内に實行されざるべからずと附加せり聯軍の下に地方官憲に依りて行政するべかりしライン左岸地方は同地方占領軍の軍政に委する事となる。日本は同地方の占領軍に對し何等の權利も認めざる。日本は休戦條件に對し何等の權利も認めざる。日本は休戦條件に對し何等の權利も認めざる。

社會黨の命に服す

伯林平靜に歸す

社會黨の命に服す。伯林平靜に歸す。社會黨の命に服す。伯林平靜に歸す。社會黨の命に服す。伯林平靜に歸す。

前獨帝抑留條件

多分發表せられざるべし

前獨帝抑留條件。多分發表せられざるべし。前獨帝抑留條件。多分發表せられざるべし。

獨逸皇太子薨去

ハマン親王の薨去に依りて獨逸に激震

獨逸皇太子薨去。ハマン親王の薨去に依りて獨逸に激震。獨逸皇太子薨去。ハマン親王の薨去に依りて獨逸に激震。

獨逸革命統一

獨逸革命統一の進行に激震

獨逸革命統一。獨逸革命統一の進行に激震。獨逸革命統一。獨逸革命統一の進行に激震。

革命運動と節制

獨逸革命運動の進行に激震

革命運動と節制。獨逸革命運動の進行に激震。革命運動と節制。獨逸革命運動の進行に激震。

北露政府の通告

北露政府の通告の要旨を要約

北露政府の通告。北露政府の通告の要旨を要約。北露政府の通告。北露政府の通告の要旨を要約。

陸軍和正使出發

陸軍和正使の出發に激震

陸軍和正使出發。陸軍和正使の出發に激震。陸軍和正使出發。陸軍和正使の出發に激震。

支那對米借款

日本との借款打ち切りのため

支那對米借款。日本との借款打ち切りのため。支那對米借款。日本との借款打ち切りのため。

錢内閣組織決定

錢内閣の組織決定に激震

錢内閣組織決定。錢内閣の組織決定に激震。錢内閣組織決定。錢内閣の組織決定に激震。

支那兩公使任命

支那兩公使の任命に激震

支那兩公使任命。支那兩公使の任命に激震。支那兩公使任命。支那兩公使の任命に激震。

香港休戦祝賀會

香港休戦祝賀會の開催に激震

香港休戦祝賀會。香港休戦祝賀會の開催に激震。香港休戦祝賀會。香港休戦祝賀會の開催に激震。

陸軍工事進捗

陸軍工事の進捗に激震

陸軍工事進捗。陸軍工事の進捗に激震。陸軍工事進捗。陸軍工事の進捗に激震。

朝鮮の犠牲

朝鮮の犠牲に激震

朝鮮の犠牲。朝鮮の犠牲に激震。朝鮮の犠牲。朝鮮の犠牲に激震。

滿蒙毛織好況

滿蒙毛織の好況に激震

滿蒙毛織好況。滿蒙毛織の好況に激震。滿蒙毛織好況。滿蒙毛織の好況に激震。

高麗毛織好況

高麗毛織の好況に激震

高麗毛織好況。高麗毛織の好況に激震。高麗毛織好況。高麗毛織の好況に激震。

慶賀丸代船

慶賀丸代船の運行に激震

慶賀丸代船。慶賀丸代船の運行に激震。慶賀丸代船。慶賀丸代船の運行に激震。

關門記者團來日

關門記者團の來日に激震

關門記者團來日。關門記者團の來日に激震。關門記者團來日。關門記者團の來日に激震。

京日案内

京日案内の要旨を要約

京日案内。京日案内の要旨を要約。京日案内。京日案内の要旨を要約。

鳥瞰録

鳥瞰録の要旨を要約

鳥瞰録。鳥瞰録の要旨を要約。鳥瞰録。鳥瞰録の要旨を要約。

毛皮のめし仕立

毛皮のめし仕立の要旨を要約

毛皮のめし仕立。毛皮のめし仕立の要旨を要約。毛皮のめし仕立。毛皮のめし仕立の要旨を要約。

有給外務員招聘

有給外務員の招聘に激震

有給外務員招聘。有給外務員の招聘に激震。有給外務員招聘。有給外務員の招聘に激震。

京日案内

京日案内の要旨を要約

京日案内。京日案内の要旨を要約。京日案内。京日案内の要旨を要約。

毛皮のめし仕立

毛皮のめし仕立の要旨を要約

毛皮のめし仕立。毛皮のめし仕立の要旨を要約。毛皮のめし仕立。毛皮のめし仕立の要旨を要約。

悪性流行

悪性流行の要旨を要約

悪性流行。悪性流行の要旨を要約。悪性流行。悪性流行の要旨を要約。

安全第一

安全第一の要旨を要約

安全第一。安全第一の要旨を要約。安全第一。安全第一の要旨を要約。

コトモノ

コトモノの要旨を要約

コトモノ。コトモノの要旨を要約。コトモノ。コトモノの要旨を要約。

呼吸器散

呼吸器散の要旨を要約

呼吸器散。呼吸器散の要旨を要約。呼吸器散。呼吸器散の要旨を要約。

大々々

大々々の要旨を要約

大々々。大々々の要旨を要約。大々々。大々々の要旨を要約。

桃香迷走

桃香迷走の要旨を要約

桃香迷走。桃香迷走の要旨を要約。桃香迷走。桃香迷走の要旨を要約。

謹告
明十六日ハ休戦條約締結ニ付祝意ヲ表ス
ルタメ臨時休業可仕候
大正七年十一月十五日

朝鮮銀行仁川支店
百三銀行仁川支店
十八銀行仁川支店
朝鮮商業銀行仁川支店

東京六 石版インキ各種
東京求 石版インキ各種
林堂製 活版インキ各種
櫻井製 名刺カード各種
朝鮮一手特約店
堀井隆盛堂京城出張所
電話四〇一五八番
振替東京一〇五八番

見本帳 無代進呈

株式會社 川北電氣企業社
製品販賣假事務所
清水式精米機 鮮満特約一手販賣

謹啓
本社奉天支店配人高原龜三氏今回本
社支配ノヲ辭シ貿易商德昌洋行ヲ經營
スル事ト相成候間此段及謹告候也
德昌洋行主 高 原 龜 三

謹告
謹啓者儀今般平安攻玉園支配人ヲ辭
シ同時ニ德昌洋行ニ關スル權利義務一
切ヲ株式會社平安攻玉園ニ譲渡シ大連
ニ於テ輸出貿易業ニ從事スル事ト相
成候間倍舊ノ御引立アラン事ヲ奉願候
大連德昌洋行主 高 原 龜 三

德昌洋行主 高 原 龜 三

德昌洋行主 高 原 龜 三

德昌洋行主 高 原 龜 三

德昌洋行主 高 原 龜 三

德昌洋行主 高 原 龜 三

德昌洋行主 高 原 龜 三

德昌洋行主 高 原 龜 三

德昌洋行主 高 原 龜 三

德昌洋行主 高 原 龜 三

德昌洋行主 高 原 龜 三

德昌洋行主 高 原 龜 三

德昌洋行主 高 原 龜 三

德昌洋行主 高 原 龜 三

德昌洋行主 高 原 龜 三

德昌洋行主 高 原 龜 三

德昌洋行主 高 原 龜 三

德昌洋行主 高 原 龜 三

德昌洋行主 高 原 龜 三

德昌洋行主 高 原 龜 三

德昌洋行主 高 原 龜 三

德昌洋行主 高 原 龜 三

德昌洋行主 高 原 龜 三

德昌洋行主 高 原 龜 三

德昌洋行主 高 原 龜 三

德昌洋行主 高 原 龜 三

德昌洋行主 高 原 龜 三

德昌洋行主 高 原 龜 三

德昌洋行主 高 原 龜 三

德昌洋行主 高 原 龜 三

德昌洋行主 高 原 龜 三

德昌洋行主 高 原 龜 三

德昌洋行主 高 原 龜 三

德昌洋行主 高 原 龜 三

德昌洋行主 高 原 龜 三

德昌洋行主 高 原 龜 三

德昌洋行主 高 原 龜 三

德昌洋行主 高 原 龜 三

德昌洋行主 高 原 龜 三

德昌洋行主 高 原 龜 三

德昌洋行主 高 原 龜 三

德昌洋行主 高 原 龜 三

德昌洋行主 高 原 龜 三

德昌洋行主 高 原 龜 三

德昌洋行主 高 原 龜 三

德昌洋行主 高 原 龜 三

德昌洋行主 高 原 龜 三

德昌洋行主 高 原 龜 三

德昌洋行主 高 原 龜 三

德昌洋行主 高 原 龜 三

德昌洋行主 高 原 龜 三

德昌洋行主 高 原 龜 三

德昌洋行主 高 原 龜 三

德昌洋行主 高 原 龜 三

德昌洋行主 高 原 龜 三

德昌洋行主 高 原 龜 三

德昌洋行主 高 原 龜 三

德昌洋行主 高 原 龜 三

德昌洋行主 高 原 龜 三

德昌洋行主 高 原 龜 三

德昌洋行主 高 原 龜 三

德昌洋行主 高 原 龜 三

德昌洋行主 高 原 龜 三

德昌洋行主 高 原 龜 三

德昌洋行主 高 原 龜 三

德昌洋行主 高 原 龜 三

德昌洋行主 高 原 龜 三

德昌洋行主 高 原 龜 三

德昌洋行主 高 原 龜 三

德昌洋行主 高 原 龜 三

德昌洋行主 高 原 龜 三

德昌洋行主 高 原 龜 三

德昌洋行主 高 原 龜 三

德昌洋行主 高 原 龜 三

德昌洋行主 高 原 龜 三

德昌洋行主 高 原 龜 三

德昌洋行主 高 原 龜 三

德昌洋行主 高 原 龜 三

德昌洋行主 高 原 龜 三

德昌洋行主 高 原 龜 三

德昌洋行主 高 原 龜 三

德昌洋行主 高 原 龜 三

德昌洋行主 高 原 龜 三

德昌洋行主 高 原 龜 三

德昌洋行主 高 原 龜 三

御統裁

地たる天王寺公園にては午後五時より留置式を挙げ先づ君が代を合唱し市吏は倫敦市、羅馬、紐約、各市長の祝電文を讀み朗誦し市長暨にて帝國の萬歲が讀み司市長暨にて帝國の萬歲が讀み聯合全國の萬歲を唱して閉式は六時三十分の鐘聲を全國に各國の代表は先頭に日本橋筋、北橋筋、中野橋筋の市街を練り通り、その島公園に集合し、市民の聲にて萬歲を三唱し解散せしは九時過ぎなりき（大阪電報）

軍隊の教練を見せて下さい

第四十旅團長 内野少將

陸軍特別大演習第一日の戦

天候險惡 東海飛行場
 午後一時十分より三十分迄に
 百十七號の四機飛翔せるが膽
 好海軍大尉は北飛行場に飛
 傷重に集して歸船なり又
 最前雨中尉は最前町に墜落投
 死を行つた敵の心臓を寒からしめ
 たり(宇部特報)

大阪市休戦
 祝賀會

を設けたいものである。リ内野少將談

日本軍馬が西伯利亞の極寒に耐へ得ないで引揚げることは残念だ

南高郡郡内面中石淵里

て逃走し永興地方に潜匿の起
るなるものなるが本月七
日、毛呂を高原分隊の隊員
の探知する處なり同家
族中を驚かし逃走したるを追
往江津沿岸に於て進退谷
へ許り河中に身を投げ對
する付かんしたるも寒氣の
自由を失ひ遂に凍死したた

●雁十郎の八汐外記引

[illegible]

か多

彼等はどうな
 ◇國費の救恤資金
 ◇保育される日

を^を守りて

海兵黒龍江岸
の兵舎に冬營

◇國旗を掲げよ

祝意を表すべし
今十六日は休戦終

祜賀會

十三日中之
公園にて舉行
入阪市に於ける對獨逸體操約
祝賀會は十三日盛大に舉行さ
當日午後三時より天王寺中
兩公園上空に煙火頗りに轟き

於ける對獨休戰條約

後三時より天王寺中
空に煙火頗りに轟き

には屹^{ちやう}成功するに極^{きよく}つて終^はは地理^{ちり}の上^{うへ}から云^いつても内地^{ないち}

◇輸送が出来る

位で近來弗々其點に眼をつは

○残念ながら

に接して……

輜重隊輸送指揮官曰
十五日午前九時廿二分、同十一
時十時の三回に涉り出征第三
團所屬輜重隊糧食縱列○○○
○○○頭は龍山驛通過凱旋



凱旋する重戦隊
二月二十日の龍山驛

Journal of the American Statistical Association

力せるは便益すること頗る多大なり(敦賀)

100

小 説

毛髮の營養に富み
日本に冠たる
世界的パール煉香油
として内外の需要頗
旺盛なり

パール
煉香油


パール
ボマード

パール
椿香油

化粧化學を應用し
絶對的黑色着毛に適
實に達感なり
現代理想の

パール
椿香油なり

代理店 平尾レイト
平尾パール

<p>治疾丸</p> <p>百毒下しは</p> <p>百毒母を下す!!!</p> <p>最寄の店に お求めの上お試され</p> <p>特設四日市赤坂 加藤聖松堂 初任大東三〇九五</p>	 <p>人蔘優強壯劑</p> <p>淫羊藿エキス</p> <p>通稱三枝葉草エキス</p> <p>効主 肝腎衰弱 血虧症 神経痛 リウマチ 老力減退</p> <p>定價 二十元 十五元 十元 五元 二角五分</p> <p>送別 郵外 贈券</p>	<h1>EUKLERIN</h1> <h2>ユークリン</h2> <p>神經衰弱特效</p> <p>本品ハ營養ヲ増進シ神經衰耗ヲ補フヲ以テ 神經衰弱、陰萎、營養不良、結核諸症、腺 病、重病回復期ニ適ス</p> <p>本品ハ帝國大學教授本邦蛋白質化學ノ泰斗鈴木博士 創製ノ吸收性同化性情劑ナリ</p> <p>粉末ニ五瓦入、金七拾五錢、錠劑百錠入、金八拾錢 説明書アリ進呈ス各地方有名藥店ニテ販賣ス</p>	<h1>店仕舞大賣出し</h1> <p>謹啓</p> <p>向寒之候益御清安之段奉欣賀候陳者小唐儀 營業開始以來大方の御深甚なる御眷顧御 引に依り今日に立ち至り申候段日夜感 銘に存じ厚く奉鳴謝候</p> <p>然るに今回都合により從來の呉服店を廢 業するに意を決し申候就ては本月十七日 より店仕舞の爲め大々的安價を以て大賣 出しを開催仕候間何卒御來店被成下度奉 願上候也</p> <p>京城明治町</p> <h2>唐川吳服店</h2>
	<p>東京山手一國口 代報三城府 部理番〇〇三</p> <p>京都北 天島 佑友 堂店</p>	<p>東京 室 町</p> <p>三共株式會社</p>	

北島春石作 森田久畫

油類を採取せしめて海洋に抛じたる
 油類を喰ひ盡したる水中に浮遊す
 る魚類の状態を知りし更に進ん
 だは一切の道具及び潜水艇等々を
 向後陳列せしめ他其の如く陳列
 せしる百二十五號が移序良久陳列
 されば以て觀覽者に水上上の
 知識を興ふるに於て高深遠難無そ
 べし

◆遊洋行商店にては期內成婦
 所人會に應じ廣告を設け一般觀
 人に對し眼科接待を爲しつゝあれ
 が眼の藥湯は能く觀覽人の病や

可奉送
 千代田縣印刷
 本

良き解説を爲す
 等に於ける營業狀況を示したる
 ものに於ける


◆接待所 大邸閣寶會の設
 に係る隨筆の色鮮やかに欄間
 古式建築一圖想せしめ心地良
 入りて休憩せれば茶菓を供
 了接待に準じし餘の上下左右
 はイルミネーションを設備し夜
 は眞に不夜城を現出する様上に景
 ば坂内は固より遠く飛行場をも
 するを得べし

りん病 急性性療法を問はば
博士 森見の新薬
配合せる**林滅**を服用すれば
治癒なる病の一四四一十二
錢圓四 送附不要

店
市
丸太町三丁目

ル・テサック 特製
五十個 廿圓九十錢
十個 廿圓九十錢
五個 廿圓九十錢
二個 廿圓九十錢
一個 廿圓九十錢

山田文雄藥房
大阪府京成三丁目
二丁目


 同
 龍山出張所
 龍山元町丁目番路一八番
 繁行ハ各極要ノ地ニ爲替取引店有之諸預
 金貸付其他送金荷爲替代金取立等銀行一
 般ノ業務ハ精々御便利ニ取扱可申候間多
 少ニ拘ラズ御取引願上候
 社長崎貯蓄銀行ノ代理事務取扱申候
 池田季


[illegible]

新式大書

A black and white illustration of a woman in profile, looking down. She has dark, wavy hair and is wearing a dark kimono with a white collar. She is holding a large, dark, rounded object, possibly a bag or a piece of clothing, in front of her. The style is traditional Japanese woodblock print. In the upper left corner, there is a vertical signature and the number '19'.

三才

此子 こ ぞう ぞう
 よく出 で



 一郎さんは、學校の先生に言はれた事
 をよく守つて、朝起きた時と夜寝る前と
 には、必ず、ライオン齒磨を使つてゐます
 から、實に、立派な、美しい齒を持つてゐ
 ます。そのお蔭で、身体は強健になり、
 精神は快活となり、學校の成績も優秀で、
 何時も級の一番を占めてゐます。ごらん
 なさい、此「通信簿」を。無缺席で、成績
 は皆中ばかりです。そして、体格も強で
 齲齒なんか一本もありません。

り取つた幸枝を、吾國守の義で生
みの御世話に子に三年振りに逢は
せ遣つた後、この儘で母子を引越
すのは實に堪へられず、何れも親
父の仇が實に食ふから安堵せし
さばかり、渡谷の侍住居へ連れ戻
つてより今日三日、母子の泣く
も笑ふも心の儘に任せてやつた。
この侍住居を取替へて、
雨の降るやに啼き廻つてゐる「蘆
の聲」も、今朝は蘆の葉裏に響き
夢結たが、何處へもそれら
い影響がせず、何となく朝日の寒
はひ運の木々は、大方釘に葉を
密つて、遅く秋の感じさが身に沁
み渡る。

その荒涼たる雨りたつた直前には、
兩手手荒れ腫れたまゝ、羽織もぎや
素着の兵衛常盤、傘付た輕い装束
で蘆園に果した蘆家の植木居
へ足をかけた。

我家手荒れ腫れた、此方の庭
へ入つて行きたい、さすがに御家へ

人から置いて、今、東京へ戻りし
の名入云つたら元本の指に折
る一人。

「ね、親生の前だが植木居な
で黒屋に出来やせんぞ、名入
うした半端者だから、一日に歸
人風情云はれてしまふが、これに
て蘆家大名親族へお出にもでき
藤藏と親睦で語が出来るんぞ」
ちよつと一杯喜ぶでもけやう
氣配を吐き散らす。

それは實が災界がなくて面白く
頃は蘆家もすつかり感になつた
先方の隙を執、ささいな程で面
みすれば、番茶の御馳走にも

その直前が始めてこの蘆家へ
傳てて来た時、植藏は何だか儼
なねボロ肌土だくろに居纏つ
ゐんだか、女房のお先から飛
返るさ、女房のお先から飛

◎慶北物産共進會案内

○織部會社之設廠　京畿織部會社は總管に於ける力繼織機、織造設備は悉く備へてゐる。遠くに中道を隔し、京都・大阪間にあり力繼織應用細綿は是年秋の内に於て多くの日目を充つ。

○シナガミ特選館　シナガミシ合社が開設する特選館亦特色あり現代の廣域性を遺憾なく満ちせり。

○蔬菜館　蔬菜館はミシン會社の設廠に接したる地點にある。館内の出品數九十九品に下り蔬菜類其他多種多様の蔬菜類々當に充つ。

○現業館　に於ては製紙模範工場と並んで、各種の製品を出品する所である。

◆第四號館　は其の陳列室内には全歸國一の柳あけの本道直木陳列されるが、出品物は白頭樺の樹一千八百餘段、中津及び其の樹、松二百零等にして、其中農村における遊樂圖畫者の手は其の調子の緊要なるを最も具體的に説明し観覧者の深く意を誘ふ所なり。

第五號館　は其の陳列室内本道新築致する商品及び徳考農具、柳、樺三種にして、教育施設及公共の駅を一觀に知らん。

東京長門町二丁目

○硝子器　御橋本硝子店
電話一八三三

に於ては製紙模範工場と並んで、各種の製品を出品する所である。

に於ては製紙模範工場と並んで、各種の製品を出品する所である。

麻生

儒雅

(1906-7)

イオニオン
水磨粉

大正元年四月廿四日開設

東京市丸の内區本町二丁目五番地

（1906-7）

SANITARY CENTRIFUGE LION TRADE MARK SUPERIOR QUALITY MADE IN JAPAN.

の女にライオンを商標として、健康になさいませ。さうすれば、屹度一層さんのやうに身体も強健になり、學校の成績も優等になります。

[illegible]

美濃部俊吉氏談

原書
流長
祝京橋
九龍

[illegible]

電 佛留習 寺 内 正 毅
文化に資益せるの多大な
其の四千號を發刊するに
欣賀に堪へざる所なり前

に於ては、(一)金貨の必要ならからちか、國
幣に於ては、資本が立て互に詰り
後には、(二)金貨の吸収の競争なきやうに
ふも潤うやうでは何百億の預金を持つて
海外放債を企畫してゐる外國の諸
帝に對して是れ一戰する事

大將 大島健一「事」

界の秩序も立つたことに就てあるか
しなからは順應し等二であるに當
ては行く可き手段に
つたさへ言はう、かの先般本

朝鮮も一通り

分るに對しては勿論
なるに對しては勿論
なるに對しては勿論




































































水田問題 食糧問題の如きは、歴
の開發によりて密に解決出來
問題である。今内地に多少殘
てゐる大土地ならものは要する
而して少くして功少き土
許りで内地から米の吸收を得る
は頗る困難である。殊うその邊
以て朝鮮の開發に努力すれば作

朝野紙剣
 新書
 此點は眞
 が變来といふかも知れぬ、
 相持つて現在に停んで居るに至る
 此は概してでない、乃ち日本國民
 生活の安易を望み、する處に更
 一千三百萬石内外の米を産す
 といふ途は國庫の開費を以て最
 難題とする、かくの如くして朝
 の開費は獨り財餘のためのもの
 國庫を以て、これのりとの財餘

[illegible]

大した影^{かげ}も興へて居らぬといつ
行の併^ひてより、從つて

▲戰局の終局と共に
記念すべき點に當り以上、言を述下
の前途を祝する。(在
軍記)

																																																																		
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	--	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

三ほまれ味噌

京坂大牟通（電留）四五番

日本醬油株式會社京城出張所

淺野セメント株式會社京城出張所

淺野スレート株式會社京城出張所

懸賞小説當選發表

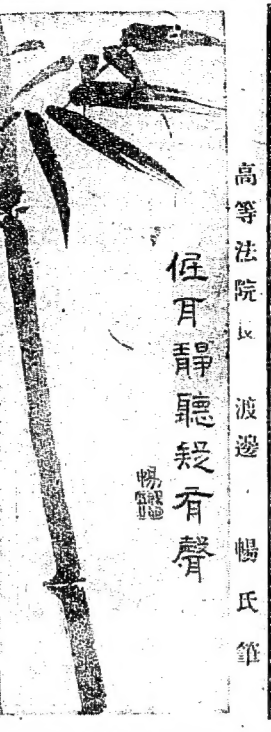
暗い埃

三田村龍太郎 田園美奈南

「暗い埃」は、三田村龍太郎の代表作である。この小説は、戦前の日本社会を背景に、人間の欲望と倫理の衝突を描いた。主人公の苦悩と葛藤は、読者の心を捉え、深い印象を残す。この作品は、そのリアルな描写と鋭い社会批判によって、多くの読者の支持を得た。

政務總監 山縣伊三郎氏筆

高等法院長 渡邊 暢氏筆



工藤壯平氏筆



この小説は、人間の欲望と倫理の衝突を描いた。主人公の苦悩と葛藤は、読者の心を捉え、深い印象を残す。この作品は、そのリアルな描写と鋭い社会批判によって、多くの読者の支持を得た。

附録四頁添附

祝四千號
朝鮮殖産銀行
支店長 北原彦治郎
電話五〇番

祝四千號
下村泰造
電話八六番

祝四千號
忠清農林社
社長 吉原三郎
電話一四四番

祝四千號
三南殖産株式會社
清州出張所
電話五四番

祝四千號
北一樓
電話三五番

祝四千號
大連市山縣通
本社
大連市山縣通
出張所
安東縣出張所
青島出張所
天津出張所
神戶出張所
旅順出張所
龍口出張所
芝罘出張所
煙台出張所
威海衛出張所
大連出張所
青島出張所
天津出張所
神戶出張所
旅順出張所
龍口出張所
芝罘出張所
煙台出張所
威海衛出張所
大連出張所

祝四千號
大連市山縣通
古河礦業會社
古河商事株式會社大連出張所


祝四千號
大連市山縣通一六三(電話代表番號五〇四〇)
本店 福昌公司
相生山太郎
出張所々在地
大連 青島 奉天 營口 撫順 立山 海城 金州
老龍頭 朝鮮 釜山 中里



400.0 號

山ノ、浜灰
由更りて世界的な流行病として存
名を為スミスはまたその息子にさ
してその名を知られ居ります
與志雄さんは大のリスに倣って自ら
一小さい飛行機を買ひて使して居
ります。ところがスミスの

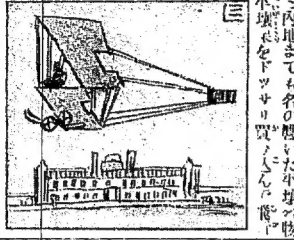
作に思ふのは、男の子が飛ぶ
大抵七斗の花畑に相合すやう
言つたのも他所事に志雄さんに
見よう、何かに打つて貰へん



れません、早くから舞臺にかけで
組のある練兵隊の唄が口へ飛ぶ
乗まへて、そして小高江に陣
敷かへて首がさたるかなど熱氣
に空を騒動して居ります。おつたやうな呼吸高く「プロペラーの音」明々しく響きました、すると奥と雄雄しんは最う悲中す。「もう、掛がついた、あれ、あ、市返り、おつこ危ない、うまいね、おつたね、感心々々スミマシ君

機雷の完成につこのまた、外出するは現境へ行くだしたです。口頭無償のお供えでも朝から都府界ところどころで働いて居りまでも、友達が遊びに誘ひに来ても、忙いかに遊んでなんがあるれないよ。

「お聞きもしなくて済みますので友達仲間では與違難なん事を、機雷とか何かの機雷のことだ、呼ぶ時、言ふ時、手紙に書くと、



終りになつた十日の未明から興志雄さんの邸は急に元氣附いて來ました。今まで異つてこんな度は朝に秋の郊外に城山のやうに散歩に出かけます。夏長郎も今年は興志雄さんのために特に敏しいものがありました。なぜそんなに興志雄さんへ人は急に愛着が湧いて來たのでせうか

× × × × ×

興志雄さんは苦心の結果、やつと機に入つて興志雄式飛行機を造りました。京城市報社前の廣場までやつて來ます。秋風の空は、點々としたお宝の如く晴れて飛行して見たりくなりました。そこで早速興志雄さんは例の機中飛行機で便利機式飛行機の餘りに立派なのに感心しました。

本人が白に赤字の腕章を巻いてやつて來ます。日本人を見れば興志雄は大喜びです。通稱より「おや、見ると此處には京城市報社前調査所」であります。

「おやく、貴方は飛龍日報の水父さんですか」
呼止められた人も
「おやく君は何處から見た事があるねえ」

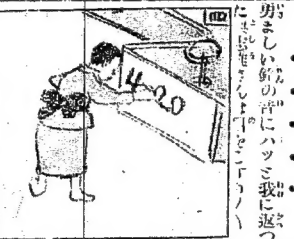
はるかすおやくの顔をきやりました。興志雄さん今度自分が興志雄式飛行機で飛龍日報社の前に飛び出して待て無人島間に半壁に立つて持てた事を話して、司令部へ連れて行つて貰ひたい。司令部では勇ましい興志雄さんに、お土產に日本拳銃を打つて下さい。

司令部は興志雄の望み通り何かに入らなかつたのか知り耳を引取つてゐられる。見つけた朝野の皇子はまだ作中に遠慮もなく「何だつてそんなにお耳を引取つて嫌になる」と言われた。郷澤は邊面作りの「さね」、少し其厭な事があるでね。客へある皇子は驚く遠慮なく少し厭な事はありますが耳を引取るの、夫ぢやほんごに厭味がある、何うするの」

「さういふ前つた親帝は時をきめてから、其時はね對手の耳を叩いてやるの」。親帝降下囉此頃皇子のお耳や侍従の耳を盛んに叩いてゐられる事であらう

▲熊鷹の食卓に開口
▲シガラツトン

自分の家では更に角子を買に出



「おやおや、これは驚くべきの機の上に苦心の作務中飛行機がニココして居ります」

「それこそは、東京府中で京成日報の徳田君と違つて来たのに、此の出発は何だとならう」

マサ隆に答へて見ると、京成日報の四千號記念紙の新聞です

「おや、我々が京成日報読者の東京日報、これ僕の飛び機に浮遊した關係があるを見る」

「ウツラうだ」

部屋に飛び込んだ吉成の飛行機に懸つた新聞紙を、マサ隆に「馬鹿な典義雑誌だ0000號で終つて此處には0000號で命名教し了つた」この後與志雄ではほん二回利和に向つてこの

英國のアレキサンドラ太后がお話に時分の差ひをよこすことばは拉しのお話の中大體ひびいてゐるからなま云ふ、處が其又先生さういふことが非常にあつた。僧侶、婦孺、老幼共に我儘は切つて申せられない、びし／＼お稽古するものではない。當時はまだ王のアレキサンドラ太后は肥満で、或許先生に向つて突然「先死しろ」と言つたもので、吾等々々残つたものを何時までも吾等々の罪であるといふまいわね」僧侶は向食らつて「左様」

王女は邊々に「左様」

「先生死んでしまふ」

何時までも休まずに側か

せるのは可哀さうぢやないかい

◆食後のお話◆

「アカビルの平刃」
獨帝陛下「何か氣に入らぬ事が
ある自分の耳を引替る時がある
今は陛下が御親政の御國事
なる事を執じたり」と

祝四千號

高麗人蔘製劑所
京城黃金町四丁目
電話二五九九番
南鮮一手販賣
菅藥店

祝四千號

支店所在地、平壤、新義、安州

祝四千號

販賣組合
電話二一九四番

祝四千號

京城南大門通三丁目
電話長三八六番

祝四千號
京城本町二丁目
近藤貴生堂藥房

京城南大門通子目
內外雜貨卸商會
玉植店
店商
京城支店
電話二五二番

祝四千號

東洋生命保險株式會社
京城支店
電話長六五一番

京城白米商組合

祝四千虎

和洋器具
測量諸器械
洋帳製本印刷
支店 小川河内行
振聲京坂一〇四番
田長西五番
電話長
一七九番
町田商店
京城日報市內專賣店
町田新聞部

[illegible]

今村精米所

精六月
銀票一四〇六番

祝四千號
京城本町三丁目
天
福田又京城支店

電話 振替貯金 東京六二九三番番

[illegible]

祝 四 千 號

撫 順 炭

其層百三十尺以上百九十尺に互り
舍層を通じて同様の性質を有せる
其色澤にして光輝強く炭質硬堅
なる石炭なり
採掘分に富み尤も燃付より石煙石
灰分極めて少量にして「グリーンカ
」を生ずることなく燃焼十分な
る石炭也硫黄分を含むとる少
なきが故に汽鍋の鑪板に損傷を及
ぼすより少なかり石炭なり

南滿洲鐵道株式會社
鑛業部販賣課

京城南大通五丁目(電話四二七〇)電報(テニ)
電話二〇三番

同 貯 炭 場

本 溪 湖 炭

最も多くの固定炭素を含み「カー
ブーフ」炭に類似せる石炭なり
適當に酸素を供給せば八千「カロ
リー」の強熱を發する石炭なり
適度の粘結性を有し多くの骸炭分
を含める良質の石炭なり

煙 臺 炭

半無煙の石炭なり
固定炭素量尤も多し百分中七五
四平均を有する石炭なり

撫順炭は汽機燃料用として日本産
一級炭に匹敵し特に鐵道機關車底
船艀燃料に適す
撫順炭は特徴として揮發分多きを
以て互折製炭用として是最優等の
石炭なり
撫順炭は一般工業用には尤も適當
せり
撫順炭は著火力に富み家事用とし
ては尤も便利適用なり

本溪湖炭は「カーブーフ」炭と同じ
本船炭料殊に遠洋航路に適す
本炭製造は鐵道用に尤も適當し且
本炭強く鑛煉用には適當せり
本炭深掘は尤も火持ち永く一度完
全に燃焼し得るときは本炭で等しき大
け保火に及ぶ良炭なり

煙臺炭は家事用にも煤煙
の思ふに常により清潔を保つ
煙臺炭は一般工業用にも適し殊に
石炭鑛に之を用ゆるるときは其品質
を優良ならしむるの特點あり

祝四千號

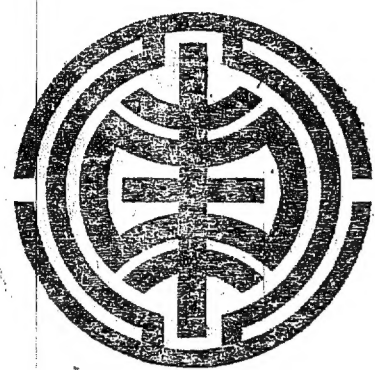
新町遊廓
組合員一同

祝四千號

★サツポロビール

大日本麥酒株式會社京城出張所

祝四千號



大正煙草株式會社